

第62回くらしの中の竹工芸展 報告書

【開催主旨】

「竹の器と暮らす心豊かな生活」をテーマに、別府竹細工の伝統技と生活に潤いをあたえる豊かな造形美を融合した、新しい竹工芸品を募集。

美術性のみならず産業工芸、生活工芸として日常生活に密着した商品性のある作品を顕彰することにより、別府竹工芸の振興を図る。

【審査基準】

別府竹細工の品格を有し、生活に潤いをあたえる「実用性」と「造形美」を兼ね備えた新しい感覚の作品。

【応募期間】

令和7年12月15日(月)～12月24日(水)

【審査会】

令和8年1月19日(月) 竹細工伝統産業会館

【応募総数】

応募者69名、応募点数82点 (内、県外 7名、8点)

【審査委員】

- 中臣 一 (竹工芸家)
宮崎 文健 (別府竹製品卸商業組合 副理事長)
小谷 公人 (元大分県産業科学技術センター センター長)
友永 尚子 (元大分県立美術館 学芸員)
大橋 重臣 (竹工芸家)



くらしの中の竹工芸展賞(グランプリ) 、 特別賞

作品名 菱形大皿「吉祥」

制作者 吉田 草史



【講評】

内部のざっくりとした編みと縁の繊細な籐かがりとのバランスが非常良く、レベルの高い作品。技術の面でも、竹を割り、表皮側をノミで波打つように削ぐことにより編み上げた後に割れが生じにくいよう工夫されている。漆で仕上げ行い、艶が出すぎず品の良い作品となっている。

【経歴】

- 1991年 長野県生まれ
- 2022年 大分県立竹工芸訓練センター修了
同年から高見八州洋氏に師事
- 2022年 第58回くらしの中の竹工芸展 別府市長賞
第40回くらしの工芸展 熊本市賞
- 2023年 第59回くらしの中の竹工芸展 大分県知事賞
第41回くらしの工芸展 宮崎審査員奨励賞
- 2024年 第60回くらしの中の竹工芸展 大分合同新聞社社長賞
- 2025年 第61回くらしの中の竹工芸展 別府竹製品卸商業組合理事長賞

【活動・作品づくりへの思い】

丈夫で鑑賞にも堪えるようなモノづくりをモットーに日々励んでいます。
新しいことも取り入れつつ、ぶれずにモノづくりの道を邁進していきたいと思ひます。

大分県知事賞

作品名 款冬華

制作者 佐藤 美樹子



【講評】

竹の美しさと編組の美しさが両方表現されているながら、技法や形態には新鮮さが感じられる。束編みで大地から芽吹く露の臺の力強さを上手く表現している。

【経歴】

2014年～2016年 大分県立竹工芸訓練・支援センターで研修

2017年 ショップ兼工房「cotake」オープン

【活動・作品づくりへの思いなど】

日常の装いに、さりげなく寄り添う竹細工のアクセサリを作っています。雲や木、花など自然からアイデアを得て形にしています。

別府市長賞

作品名 盛籠「春の稜線」

制作者 一木 律子



【講評】

差し六つ目の二枚重ねで、白竹と炭化竹による模様を裏表で反転させた美しい作品。白の部分が残雪、黒の部分が大地を、編目の隙間が春の光を上手く表現している。

【経歴】

2009年 大分県立竹工芸訓練支援センター入校

2010～2014年 別府市「竹の教室」受講

2015年 工房「福籠～fukurou～」として制作開始

2016年 「studio 竹楓舎」主宰 大谷健一氏に師事

2024年 伝統工芸士に認定

数々の作品展で受賞

大分市アートプラザ「竹工芸教室」講師

【活動・作品づくりへの思い】

白竹を使い、籠を中心とした暮らしに密着した竹細工を製作しています。

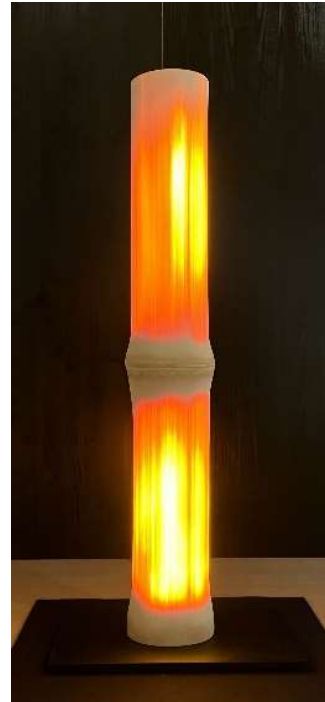
現在は studio 竹楓舎で大谷健一先生の制作に参加したり、個人で活動している「福籠」で作品を制作したり、大分市アートプラザ「竹工芸教室」の講師を努めたりと多忙な日々を送っています。

オーダーを受けての制作や、展示会などのテーマに沿った制作のほか、公募展にも応募し作品づくりを行っています。

大分みらい信用金庫理事長賞

作品名 竹蛍

制作者 小澤 友恵



【講評】

節間を極限まで薄く削り、節の部分は厚く残すことで光の陰影を上手く表現している。割れ等の発生を心配する以上に見ていて飽きの来ない作品となっている。

【経歴】

1981年 東京都生まれ

2021年～ 別府市「竹の教室」受講

【活動・作品づくりへの思い】

竹の持つ可能性を探りながら、実用性と使いやすさにこだわった製品、作品を作り続けていきたいです。

別府竹製品協同組合理事長賞

作品名 Basic?

制作者 荒井 直子



【講評】

四つ目編みに正方形の縁が施されたシンプルな作品。しかしながら、4枚剥ぎの非常に厚いひごを平面に編み、正方形の縁に押し込んで形にするのは難しく、苦勞したものと思われる。完成度が高く、存在感のある美しい作品となっている。

【経歴】

1987年 茨城県生まれ

2022年 大分県立竹工芸訓練センター入校

2024年 同センター修了

2024年4月～ 高見八州洋氏に師事

【活動・作品づくりへの思い】

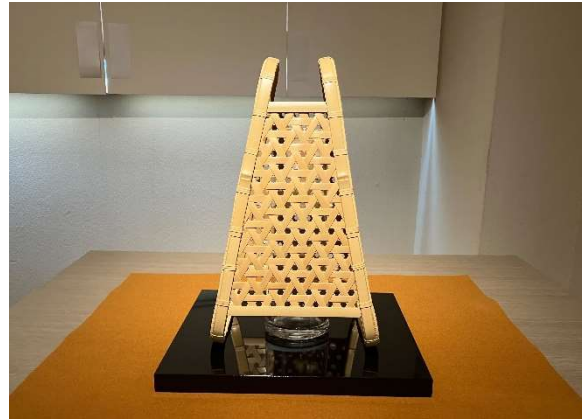
現代の暮らしに馴染むクラフトのかご作りをしています。

修行中の身ではありますが、今後はより技術を高め、丁寧な作業が見える、長く愛されるかご作りをしたいと思っています。

別府竹製品協同卸商業組合理事長賞

作品名 フラワーベース

制作者 大久保 秀美



【講評】

雑貨等シンプルなものが求められている中、非常にシンプルかつ、おとしにガラスを使う等万人に受け入れられやすいデザイン。旅館やホテル、飲食店等ですぐに使ってもらえるような作品となっている。

【経歴】

1987年 愛知県生まれ。

中学生から大分県別府市で育つ。

2024年 大分県立竹工芸訓練センター入校

【活動・作品づくりへの思い】

くらしの寄り添うものづくりのなかで、自分なりの美しさを形にできたらと思っています。

重要無形文化財保持者賞

作品名 流道

制作者 土屋 夏未



【講評】

櫛目の縦のシルエットの中で、桎割のひごの節部分とひねりを入れた仕上げにより、モアレが発生する等リズムカルで、バランスの良い作品となっている。さらなる技術研鑽に期待したい。

【経歴】

1988年 静岡県生まれ

2024年 大分県立竹工芸訓練センター入校

【活動・作品づくりへの思い】

美しく、愛おしいものを、自然からの感情を、楽しみながら表現していきたいと思っています。